

点字ブロック

視覚障害者用点字ブロックを庁舎内へ設置しては
町 障害者団体などの意見を聞いて検討



光岡 美里 議員

バリアフリーのため庁舎内へ点字ブロックを設置しては。

議員
手伝ってもらいだけでなく、自らの力でも環境整備のため音声案内や点字ブロックの設置は検討できないか。

町長
まずは対面での案内や説明を通じて、町民と行政のつながりを大切にしたい。その上で、障害者団体などの意見を聞いて、設置については検討していきたいと考える。

街路樹管理

街路樹や公園樹木などの管理は
町 剪定、防除、除草など適正な維持管理に努めている



縫部 逸都 議員

街路樹や公園樹木の倒木が近隣市町で発生しているが、本町で倒木の被害は今まであったのか。

議員
公園の樹木や街路樹の計画的な維持管理指針は作成されているか。

都市計画課長
公園の樹木や街路樹などの維持管理に係る指針は作成していないが、業務を発注する際は、委託業者との連携をしっかりと行っている。

議員
横浜公園は、開園から50年程度を経過している。中でも桜谷の桜の木は、かなり大きくなっているが、維持管理はできているのか。

都市計画課長

横浜公園には管理人がいることから、樹木の管理に万全を期していく。また、遊具の管理も含め、今後も引き締め公園全体の維持管理を行っていく。



白杖SOSシグナルマーク

町長
街路樹が580本、公園および公園周辺の沿道に沿った樹木を含め、1100本と把握しているが、被害の報告はない。

また、担当部局で樹木の観察マニュアルを作成しており、毎月、職員が公園・道路のパトロールを実施するとともに、常に樹木の状況の把握に努めている。



季節ごとに楽しめる横浜公園

不登校対策

本町の不登校問題に対する現状と対策は
町 不登校児童に粘り強く心のケアを行う



末吉 克巳 議員

文科科学省は不登校となった約4割の児童生徒が、学校内外で専門家との相談や支援を受けてなかったと公表しているが。

議員
不登校児童生徒を支援するスペシャリストルームを設置し、担当教員を配置し、6名程度が利用している。

教育長
不登校傾向にある児童も利用しており、教室以外の安心できる場として、また、不登校の未然防止として機能している。

議員
不登校支援センターを坂小学校に設置しているが、十分機能しているのか。

不登校児童生徒を支援するスペシャリストルームを設置し、担当教員を配置し、6名程度が利用している。

留守家庭児童会

留守家庭児童会入会利用の改善を
町 入会は実情をもとに判断し、適切に対応している



向田 清一 議員

条例では入会は下校後に保護者が家庭にいない状況とあるが夏休みなどの対応は。

議員
入会対象は保護者が家庭にいない状態、就労のため午後3時まで家庭にいない状況とあるが改善は。

議員
指導員の資質向上、なり手不足と言われているが処遇改善は。

議員
入会に対しては保護者から就労証明書の提出により判断している。審査で不許可になった場合でも、追加書類の提出により許可になる場合もある。

議員
報酬については、令和3年度から3%の引き上げを行い、他町と比較しても適切な処遇と認識している。

教育長
入会に際しては保護者から就労証明書の提出により判断している。審査で不許可になった場合でも、追加書類の提出により許可になる場合もある。

教育長
現在のところ行っていない。長期休暇中のみの受け入れを行った場合、長期休暇直前に一気に入会希望者が増えることが予測される。

指導員の不足で、子どもの安全を守れない恐れがあり、今後の課題として捉え検討する。



もっとスペシャルサポート施設を



宿題してから遊ぶうね

教育長
本町の調査結果は、3割弱であった。これらの児童生徒は、対人的な課題や事情により家から出ることができない状況があり、担任などからアプローチはしているが、専門家の支援の実現に至っていない。今後不登校の児童生徒に対し、粘り強く担任などによる家庭訪問や養